

市民協働に関する市民アンケート調査

【調査ご協力をお願い】

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、市民協働（※）に基づくまちづくりを促進するため、平成 27 年に施行した「四日市市市民協働促進条例」に基づき、計画的に市民協働の取り組みを進めてまいりました。

この度、令和 8 年度からの第 3 次となる市民協働促進計画の策定に向けた基礎資料とするため、本市在住の 18 歳以上の方から無作為に抽出した 2,000 人を対象に市民協働に関するアンケート調査を実施いたします。

つきましては、ご多忙のことと存じますが、本市における市民協働の今後さらなる促進を図るべく、当アンケート調査への回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた調査内容は、上記の目的にのみ利用させていただくもので、個人の回答内容は公表いたしません。

※市民協働：市民主権の理念のもと、市民等、市民活動団体、議会、事業者及び市等が連携し、それぞれの持つ特性を生かしてまちづくりに取り組むこと

令和 6 年 9 月

四日市市長 森 智 広

〈回答期限〉 令和 6 年 9 月 30 日（月）

〈回答方法〉 ①または②のどちらかの方法でご回答ください。

① Web ページから入力

- 右のQRコードからWeb ページにアクセスし、ご回答ください。
- Web でご回答いただいた方は、本調査票の郵送は不要です。



② 調査票に記入し郵送

- 調査票に黒のボールペンまたは鉛筆で回答を直接記入し、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご投函ください。
- 各設問では、該当する選択肢の数字に○印を付けてください。また、欄のある設問については、欄内に文字や数字をご記入ください。

このアンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

四日市市 市民生活部 市民協働安全課 電話 059-354-8179

あなた（回答者）自身のことについて

問1 年齢を教えてください。（〇は1つ）

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1. 10歳代 | 4. 40歳代 | 7. 70歳代 |
| 2. 20歳代 | 5. 50歳代 | 8. 80歳代 |
| 3. 30歳代 | 6. 60歳代 | 9. 90歳代以上 |

問2 住んでいる地区を教えてください。（〇は1つ）

- | | | | | |
|--------|--------|---------|------------|--------|
| 1. 富洲原 | 7. 羽津 | 13. 三重 | 19. 日永 | 24. 共同 |
| 2. 富田 | 8. 海蔵 | 14. 泉 | 20. 内部 | 25. 同和 |
| 3. 八郷 | 9. 橋北 | 15. 常磐 | 21. 塩浜 | 26. 中央 |
| 4. 下野 | 10. 川島 | 16. 四郷 | 22. 河原田 | 27. 港 |
| 5. 大矢知 | 11. 神前 | 17. 小山田 | 23. 楠 | 28. 浜田 |
| 6. 保々 | 12. 桜 | 18. 水沢 | 29. 分からない〔 | 〕 |
- ※町名または郵便番号を書いてください。

ボランティア・市民活動等への参加について

問3 あなたは、現在、地域などでのボランティアや市民活動に参加されていますか？（〇は1つ）

- | | | |
|------------------------|-----|-----|
| 1. 現在、参加（活動）している | } → | 問4へ |
| 2. これまでに、参加（活動）したことがある | | |
| 3. 参加（活動）したことがない | → | 問5へ |

【ことば】ボランティア

自発的な意志に基づき他人や社会に貢献する行為を言います。

【ことば】市民活動

市民の皆さんなどが、公共の利益のために、自主的に行う活動を言います。
ただし、宗教や政治、公職選挙に係る活動は除きます。

自治会活動、こども見守り活動などもボランティア・市民活動です

問4 < 問3で「1または2」を選んだ方におうかがいします。>

問4-1 参加(活動)されたのは、どのような分野になりますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 健康づくりや高齢者、障害者などの福祉 | 11. 後進国などへの国際的な協力 |
| 2. 学校・家庭以外の広く社会で行われる教育 | 12. 男女が共に参画できる社会づくり |
| 3. 自治会活動などの地域づくり | 13. 子どもの見守りや育成 |
| 4. おもてなしや魅力発信など観光の振興 | 14. DX化など情報化社会の推進 |
| 5. 農山漁村の振興 | 15. 科学技術の発展など |
| 6. 文化、芸術やスポーツの振興 | 16. 経済の発展など |
| 7. 自然環境などの保全 | 17. 雇用安定や労働環境の向上 |
| 8. 防災対応や災害時の救援 | 18. 消費者に対する啓発や保護 |
| 9. 防犯をはじめする地域安全の確保 | 19. 市民活動団体の育成や連携構築 |
| 10. 人権尊重や平和の維持に関すること | 20. その他〔 〕 |

問4-2 どれくらいの頻度で参加していますか(または参加していましたか)。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日 | 4. 半年に1~2回程度 |
| 2. 週に1~2回程度 | 5. 年に1~2回程度 |
| 3. 月に1~2回程度 | 6. その他〔 〕 |

問4-3 主な活動場所は、どこですか(またはどこでしたか)。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 町内 | 5. 北勢地域 |
| 2. 小学校区程度 | 6. 三重県全域 |
| 3. 地区市民センターの区域 | 7. 全国 |
| 4. 市内全域 | 8. その他〔 〕 |

問4-4 活動の情報はどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 家族や友人からの紹介 |
| 2. 地域の役員や近所の知り合いからの声掛けなど |
| 3. 施設等に配架や掲示してあったチラシ、ポスターなど |
| 4. お住まいの地区の回覧板 |
| 5. 広報よっかいち(市のホームページ含む) |
| 6. 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・地域情報誌等のメディア |
| 7. SNS(X、Facebook、Instagramなど) |
| 8. お住まいの地区や市民活動団体のホームページ |
| 9. その他〔具体的に 〕 |

→問6へ

問5 < 問3で「3」を選んだ方におうかがいします。>

(○は3つまで)

今後どのような条件が整えば、ボランティア・市民活動に参加したいと思いますか。

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 時間の余裕ができれば | 2. 一緒に活動する仲間が見つければ |
| 3. 家族など周囲の理解が得られれば | 4. 自分の関心のある内容であれば |
| 5. 金銭的負担がなければ | 6. 健康状態がよくなれば |
| 7. 声掛けやお願いなど、活動に向けたきっかけがあれば | |
| 8. その他〔具体的に 〕 | |
| 9. もとより参加するつもりはない | |

市民協働に関する制度や施設について

問 6 本市では、市民協働に基づくまちづくりを促進するため、平成 27 年に四日市市市民協働促進条例を施行しました。この条例をあなたは知っていますか。(〇は 1 つ)

1. 内容を知っている
2. 内容をある程度は知っている
3. 内容はわからないが、聞いたことがある
4. 知らない

【ことば】市民協働

市民主権の理念のもと、市民等、市民活動団体、議会、事業者及び市等が連携し、それぞれの持つ特性を生かしてまちづくりに取り組むことをいいます。

問 7 本市が提供している市民活動や市民協働を促進するための下記のと制度や事業などについて、あなたは、どの程度知っていますか。(〇はそれぞれ 1 つ)

	① 利用・活用・参加した 見ることがある	② どのような内容か 知っている	③ 聞いたことがある	④ 聞いたことがない
例 市民協働虎の巻			○	
(1) 市民協働虎の巻				
(2) 市民活動総合保険				
(3) 地域づくりマイスター養成講座				
(4) プロボノ事業				
(5) 助成制度のしおり				
(6) 市民協働まつり				

【ことば】市民協働虎の巻

市民や市民活動団体、事業者の皆さんが、市民協働を理解し実践していただくため、「つながる事例」や「市民協働の基本的な進め方」などを掲載するとともに、なやプラザや市民協働に役立つ窓口の紹介を盛り込んだ手引書を作成しています。当冊子については、市役所で配布しているほか、本市ホームページでも公開しています。

問 9 あなたは、「四日市市なやプラザ（市民活動センター・なや学習センター）」にどのような機能や事業があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市民活動に関する情報提供
2. 市民活動団体とのコーディネート
3. 市民活動への参加を促すイベントや講座
4. 市民活動団体と交流できるイベントや講座
5. 貸室機能の充実
6. 印刷機などの設備の充実
7. 市民活動に関する情報交換や他の人と交流ができるフリースペースの充実
8. その他〔 〕
9. 特に利用したいとは思わない

⇒1. ～8. を選んだ方で、具体的な内容があればご記入ください

〔 〕

市民協働の推進について

問 10 市民協働のまちづくりを進めるためには、まず多くの市民の理解と参加を得ることが必要となりますが、それらの意識づくりを進めるために効果的だと思うのは何ですか。（○は2つまで）

1. 地域での講座や研修会の開催
2. 市民協働の方法や実例を紹介する解説書の作成、配布
3. イベントや講演会などの開催を通じた市民活動団体の活動情報の積極的な発信
4. 市民に身近なところで協働事業による成功事例を増やしていく
5. その他〔 〕
6. わからない

問 11 将来に向けて真に暮らしやすいまちとなることを目指し、市民、市民活動団体、企業、行政などが、それぞれの役割を担って市民協働を進めるために、重要なことはどんなことだと思いますか。（○は2つまで）

1. 市民一人ひとりが意識を高めること
2. 協働の重要性についての共通理解を社会全体で築くこと
3. 役割分担などをコーディネートする機能を持つこと
4. 活動資金が円滑にまわるしくみを構築すること
5. 担い手となる人材を育成すること
6. 活動機会が広く与えられること
7. その他〔 〕
8. わからない

